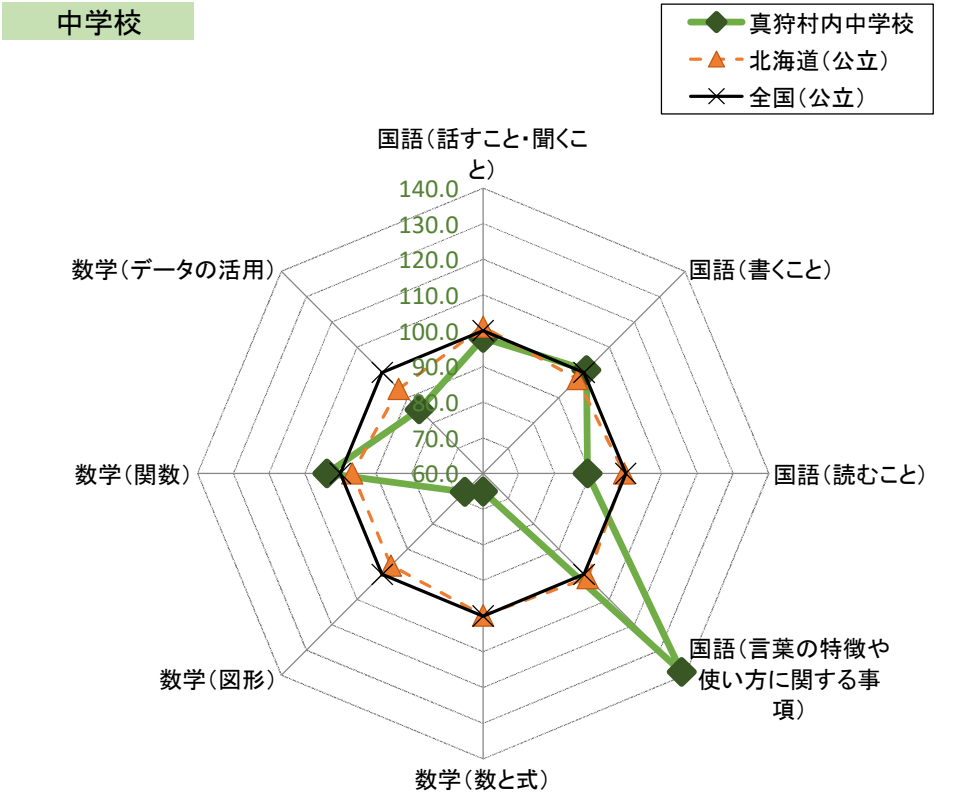
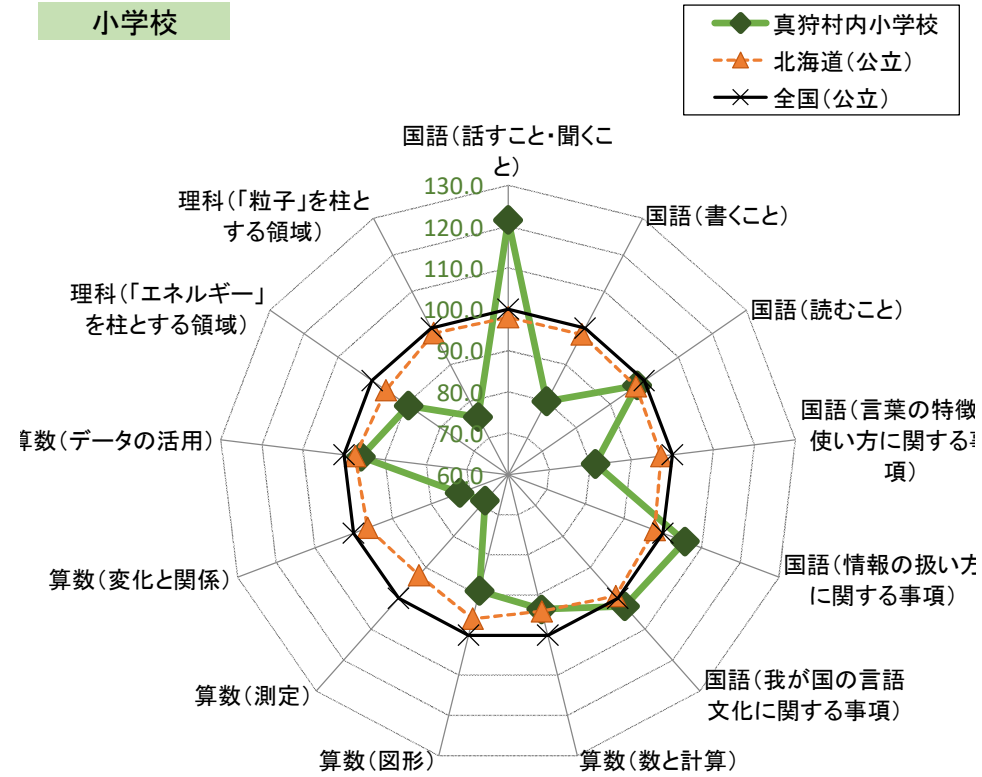


令和7年度全国学力・学習状況調査 真狩村内の状況及び今後の改善方策

○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません



小学校数:1校、児童数:12人 中学校数:1校、生徒数:12人

【平均正答率・平均IRTスコア】

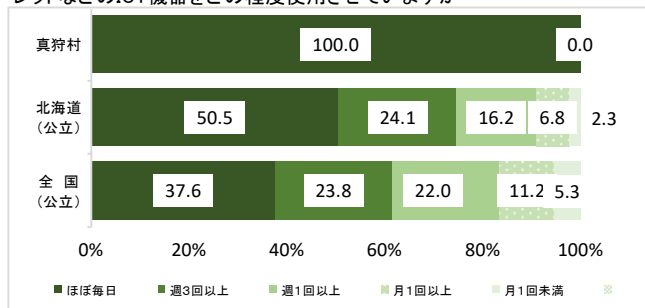
※中学校理科は平均IRTスコア

	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
真狩村	65	53	54	55	38	488
北海道(公立)	65.4	55.2	56.3	54.0	46.7	505
全国(公立)	66.8	58	57.1	54.3	48.3	503

○ 質問調査の状況

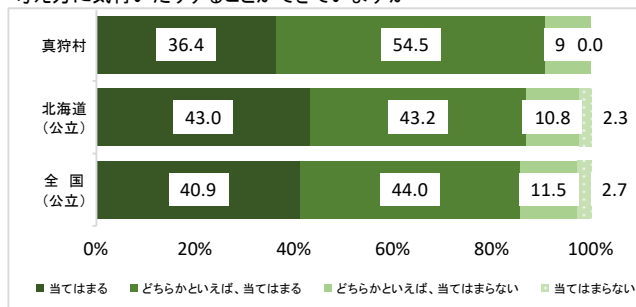
小学校 ＜学校質問＞

児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



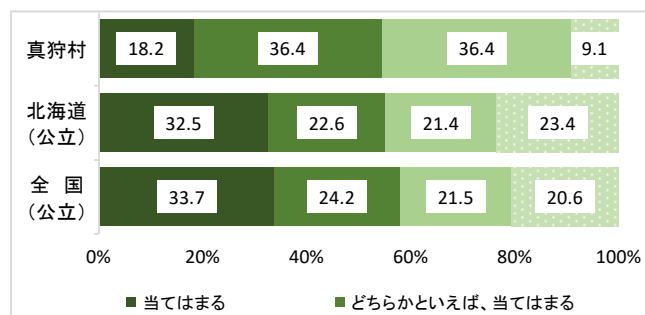
小学校 ＜児童質問＞

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



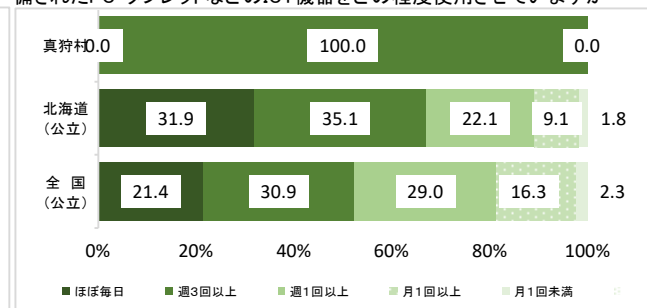
小学校 ＜児童生徒質問＞

〔算数〕の勉強は好きですか



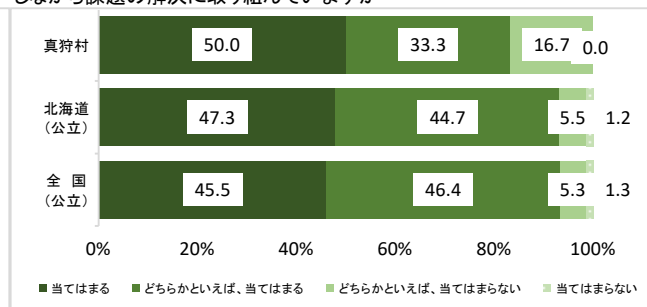
中学校 ＜学校質問＞

生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



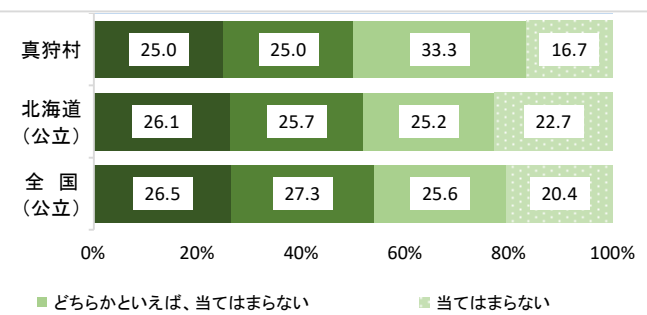
中学校 ＜生徒質問＞

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



中学校

〔数学〕の勉強は好きですか



○ 調査結果の分析

- 小学校において、児童同士がやりとりする場面で、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用したことにより、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができているに「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合の合計が全国及び全道を上回ったと考えられる。

- 中学校において、生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面で、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を週3回以上活用したことにより、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいるに「当てはまる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

- 小学校算数及び中学校数学の平均正答率が全国及び全道を下回っている状況は、算数〔数学〕の勉強が好きと回答した児童生徒の割合が全国及び全道を下回っていることが、要因の一つとして考えられる。

○ 今後の改善方策

- 1人1台端末環境と従来の指導方法を組み合わせ、子どもを主体とする問題解決的な学びの充実
- 振り返りの重視による自分の学びと高まりを自覚できる授業の構築
- 豊かな読書経験を生む環境整備による読解力を育む読書活動の推進